

DJI Fly

ドローン操縦士 育成セミナー

事前準備ガイド

i 受講当日までの重要なお願い

機体不具合やアプリトラブルを未然に防ぐため、必ず前日までに本資料の全項目（インストール・アクティベーション・充電）を完了させてください。

COMPATIBLE MODELS

 DJI Mini / Air / Mavic Series

REQUIRED APP

 DJI Fly (Latest Version)



DJI Fly

Official App for DJI Drones

事前準備チェックリスト

スムーズなセミナー受講のために
以下の6項目を必ず実施してください



01

アプリのインストール

スマホ・タブレットに
DJI Fly をインストール。
最新バージョンか確認してください。



02

アカウント作成

DJIアカウントを作成し、アプリ上で
サインインを済ませてください。



03

機体アクティベーション

新品の場合は初回起動時に必須です。
※調整済み機体の場合は不要です。



04

機体動作確認

機体・送信機・アプリを起動し、
カメラ映像が端末に映るか確認。



05

ファームウェア更新

アプリに更新通知が出ている場合は、
必ず**アップデート**を実施してください。



06

満充電にする

機体・送信機・タブレット端末を
すべて**満充電**にしてください。



注意：充電忘れにご注意ください

特に**送信機の充電**を忘れる方が多くいらっしゃいます。会場での充電時間は限られておりますので、必ず事前の充電をお願いいたします。

DJI Flyアプリのインストール

OSごとに手順が異なります。
お使いの端末に合わせて実施してください。

iOS (iPhone/iPad) App Store経由

- 1 App Storeで検索・入手**
App Storeを開き「DJI Fly」を検索し、「入手」または雲アイコンをタップしてインストールします。
- 2 初回起動・同意**
アプリを開き、利用規約とプライバシーポリシーに「同意」します。
- 3 権限の許可**
位置情報・Bluetooth・写真・通知などのアクセス権限を求められたら、**すべて許可**してください。

Android Google Play / 公式サイト

- 1 インストール**
Google Playで「DJI Fly」を検索するか、DJI公式サイトからAPKファイルをダウンロードしてインストールします。
- 2 初回起動・同意**
アプリを起動し、必要な同意事項を確認して進めてください。
- 3 権限の許可**
正確な飛行位置特定のため、位置情報・Bluetooth・ストレージ等の権限は**必ず許可**してください。

推奨環境について

OSは可能な限り最新バージョンへアップデートしてください。
古い端末やタブレットの場合、アプリが動作しない可能性があります。

法人端末をご利用の方へ

MDM（管理ツール）等でストア利用やUSB接続が制限されている場合があります。
事前にIT管理者へインストールの可否をご確認ください。

DJIアカウントの作成・サインイン

01 登録画面へアクセス

DJI Flyアプリを起動し、画面左上の「プロフィール」をタップ。
「ログイン / 登録」ボタンを選択してください。

02 メールアドレス認証

メールアドレスを入力し「認証コードを送信」をタップ。
届いたコードを入力して「次へ」進みます。

03 パスワード設定

セキュリティ要件（英数字・記号の組み合わせなど）を満たすパスワードを設定します。
※忘れないようにメモを取ることを推奨します。

04 プロフィール設定・完了

ユーザー名・地域などを設定し、利用規約に同意してアカウント作成を完了させます。

05 サインイン確認

作成したアカウントでログイン状態になっていることを確認してください。
次回以降、自動的にログインされます。

アプリの全機能を利用するために必須の手順です。
メールアドレスをご用意ください。

! 重要な注意点

- **受信可能なメールアドレス**
認証コードが届かないと完了できません。キャリアメール等は迷惑メール設定にご注意ください。
- **個人の資格情報**
複数人で共有するアドレスではなく、操縦者ご本人のメールアドレスでの登録を推奨します。

🔗 その他のログイン方法

以下のサービスアカウントと連携してログインすることも可能です。



飛行記録（フライトログ）

アカウントにログインして飛行することで、飛行時間や距離などのログがクラウドに同期・保存されます。

機体のアクティベーション

！ 初回起動時のみ必須

新品の機体を使用する場合に必要な初期設定です。

1

🔌 電源ON・接続

機体と送信機の電源を入れ、スマートフォンを送信機に接続します。
その後、**DJI Flyアプリ**を起動してください。

2

▶ アクティベーション開始

アプリ画面右下に「機体を接続」等の案内が表示され、その後「アクティベーション」の案内が出たらタップして開始します。

3

🔧 初期設定・完了

画面の指示に従い、以下を設定します。

- 機体の名前・アカウントの紐付け
- スティックモード（モード2推奨）
- 測定単位（メートル法など）

最後に「完了」すると機体が再起動します。



インターネット接続が必須

サーバーと通信を行うため、作業中はスマートフォンがインターネットに接続されている必要があります。



調整済み機体をご購入の方

販売店（セキド等）で「調整済み」の機体を購入された場合、既に実施済みのためこの手順は不要です。動作確認へ進んでください。



DJI Care Refresh（保険）

アクティベーション後、加入画面が表示される場合があります。
あとから登録することも可能ですので、スキップしても構いません。



アプリのアクティベーション画面

機体動作確認フロー

アプリ画面に正常に映像が映り、エラーが出ていないことを確認します。



1. カメラビューへ

機体と送信機を接続し、DJI Flyアプリを起動。

「GO FLY」をタップ



2. 映像プレビュー

カメラの映像がスマホ画面にリアルタイムで表示されているか確認。

- × 真っ暗でないか
- × 「信号なし」でないか



3. ステータス

画面左上のステータスバーを確認し、エラーがないかチェック。

✓ 離陸できます / GPS

▲ IMU/コンパス異常に注意



4. 各部動作

ハードウェアの認識と動作を確認。

- ジンバル: 送信機ダイヤルで上下に動くか
- SDカード: 容量が表示され認識されているか



安全のためのヒント

室内で動作確認を行う際は、万が一の誤操作による怪我を防ぐため、プロペラを取り外した状態で行うことを強く推奨します。

※モーターの回転テストは、周囲の安全が確保できない場合は実施しないでください。

ファームウェアのアップデート

最新の状態を維持

安全な飛行のために最新バージョンへ更新してください。

1

事前準備（バッテリー・通信）

途中で電源が切れないよう、機体・送信機のバッテリーを**40%以上**（推奨50%以上）にしておきます。

また、安定したWi-Fi環境に接続してください。

2

ダウンロードと更新

DJI Fly起動後、トップ画面または接続後の画面上部に「ファームウェア更新があります」と通知が出たらタップし、ダウンロードを開始します。

3

待機・完了確認

自動的にインストールが始まります。更新中は**絶対に電源を切らない**でください。

完了すると機体が自動的に再起動します。アプリ上で「最新バージョンです」と表示されれば完了です。



所要時間の目安

更新には**10分～20分程度**かかる場合があります。
時間に余裕を持って実施してください。



送信機のアップデート

機体だけでなく、送信機の更新が必要な場合もあります。画面の指示に従って順次実施してください。



失敗した場合

アップデートに失敗した場合は、一度機体と送信機の電源を切り、再起動してからもう一度試してください。



更新進捗バーの表示画面

バッテリー充電方法と注意事項

セミナー当日は長時間の使用が予想されます。
万全の状態でご参加ください。



機体用バッテリー

Intelligent Flight Battery

機体に装着してUSBケーブルを接続するか、専用の2WAY充電ハブを使用して充電します。LEDランプが全点灯または消灯（機種による）で満充電です。



送信機（プロポ）

Remote Controller

下部のUSB-Cポート等から充電します。5V/2A程度のアダプター推奨。インジケーターで残量100%を確認してください。



スマートフォン・タブレット

Mobile Device

画面の常時点灯や通信によりバッテリーを著しく消費します。必ず満充電にしておき、可能であればモバイルバッテリーも持参してください。



重要：充電忘れにご注意

特に「送信機」の充電忘れが多発しています。

機体のバッテリーは充電していても、送信機の充電を忘れるとフライトができません。必ず前日までにセットで充電を行ってください。

安全上の注意

✓ 純正品を使用する

充電器やケーブルは必ずDJI純正または適合品を使用してください。

✗ 膨張・損傷バッテリーは使用禁止

バッテリーが膨らんでいる、または外装が破損している場合は絶対に使用しないでください。

🏠 長期保管の注意

満充電のまま10日以上放置すると自動放電機能が働き発熱する場合があります。長期保管時は約60%を目安にします。



Ready to Fly